

■ NEW PROGRAM / PUBLIC FACILITY REGENERATION PROGRAM

公共施設の利活用の提案 × 実際に動かす職員育成

「公共施設活用プログラム」

利活用プランの提案から、自治体職員の育成までを、一体で。

8 月 27 日（木）14:00 自治体向けオンライン説明会を開催

株式会社らいおん建築事務所では、空き物件のリノベーションやまちづくりをプロに学べる「私立リノベ学園」に、自治体向けに「公共施設の利活用」を軸とした調査・計画策定業務を、自治体職員の育成と連動して行うプログラムを 2026 年 8 月より開設。オンライン説明会を 8 月 27 日（木）14:00 に開催する。

— 背景：コンサル委託で計画はできても、動かす職員が育たない……

全国の自治体で、学校跡地・廃校・公共施設の利活用は喫緊の課題となっています。活用計画やまちづくり計画の策定を外部委託する自治体が多い中、「計画書は完成するが、動く職員が育たない」という声が自治体から寄せられています。

生成 AI の普及で「調査」業務は内製化に向かいますが、庁内外の「調整」——地域住民との合意形成、議会への説明、財政・契約部門との連携——は、人間にしかできない仕事として残り続けます。

（株）らいおん建築事務所では、計画策定の実務に GM・専門家・メンターが伴走しながら、計画を実現するための「調整力」を軸に担当職員を育成するプログラムを始動します。

— チームで育成：専門家とメンターが、まちづくりに必須の「調整力」を育成。

「GM（事業統括）・専門家・メンター」によるチームで育成。「プロが代行する業務」「職員と協働して行う業務」「育成に重点を置いたレクチャー＋実行管理」を組み合わせ、自治体の抱える課題を前進させながら職員が実践知を身につけていきます。

専門家集団 × メンター制度による重層サポートが特徴。元国交省職員・現役副市長・元行政職員・建築家など、行政の内側と外側の両方を知る専門家が課題に応じてチームを組み、若い職員でも気軽に質問できるメンターがオンラインでの日常的なサポートも担います。

GM・専門家・メンターによる伴走チーム SUPPORT TEAM

GM		PRO		MENTOR
事業統括 全体方針を設計し、重要局面でレビューを行う	+	専門家 元国交省・副市長・行政職員・建築家などが助言	+	メンター 日常的な質問対応・進行管理をオンラインで伴走

■ 課題に応じてチームを組成。行政の内側と外側の両方を知る専門家が伴走します。

ONLINE BRIEFING / 説明会 8 月 27 日（木） 14:00 - 14:40 オンライン開催	自治体向けオンライン説明会を開催 公共施設や学校跡地の利活用が進まない理由や、その解決策について事例を交えながらご紹介します。あわせて、「公共施設活用プログラム」の概要や導入方法、専門家による伴走支援の内容についてご説明し、参加者からのご質問にもお答えします。
---	--